

「課題名 ヒト型抗ヒト PD- 1 モノクローナル抗体
ニボルマブの有害事象発現の実態調査

○研究の目的

ヒト型抗ヒト PD- 1 モノクローナル抗体であるニボルマブにて治療された患者において、副作用について調査し、副作用発現状況（時期，重症度）を基に安全性の確認・検討を行います。今後，薬剤師として服薬指導を通じセルフケアの確認，副作用対策の提案等を通して円滑な治療継続への役割を担うことができることを目指します。

○研究の方法

2015年12月から2021年3月の間に，広島大学病院でニボルマブにて治療をされた方を対象とします。

本研究は全て診療録(カルテ)情報を転記して行います。

カルテから使用する内容は年齢，体重，性別，投薬歴，検査所見，血液検査(肝機能，腎機能，電解質等)等です。(個人を特定可能な情報は解析に用いません)(研究期間 承認後～2023年3月31日)

○個人情報の保護について

調査内容につきましては，プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり，第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心下さい。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせ下さい。

*研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出頂いても今後の診療等に不利益が生ずることは有りません。

.....
お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel:082-257-5579

広島大学病院 薬剤部 教授 松尾 裕彰(研究責任者)

薬剤主任 櫻下 弘志(研究担当者)